

目的 農家生活の生活時間は、勤労者世帯に比して、その特殊性から、農繁期に於ける主婦の労働時間が長く、労働負担が大きくなる傾向にあり、健康管理・その他の生活時間に著しい影響を及ぼしている。そのため、その改善を図る必要性から、今後、適正な労働設計・生活設計を軸に、計画的な生活運営をしていくことが望まれる。本研究では、第1報での短期労働設計ソフトに引続き、ライフサイクル別生活時間、将来経営を加え、長期労働設計ソフトを開発し、設計・診断の簡便化を図ったので報告する。

方法 ソフトの開発は、ハードウェア：NEC PC-9801-VM、OS：MS-DOS、言語：N88 BASIC、フロッピーディスク：5インチ2HDを使用した。入力データとして、経営面種、基幹労働力、ライフサイクル別生活時間、将来経営目標等を用いた。開発したソフトを愛知県M町の果樹農家60戸で試行し、慣行法(手計算、実態値)と改善法(推定値)との比較検討をした。同時に使用後の所感について聞き取り調査を行った。

結果 ソフトを使用した結果、従来、手計算、手書きで行ってきた労働配分計画、家事分担計画に加え、長期労働設計表、雇用の目安、農業所得、家計費のストック等が一目でわかるようになり、①時間の軽減がされ、②考之なくとも自動的にできる、③精度が良い等のメリットがあった。また、使用者の所感では、①わかりやすい、②操作が簡単、③今後の参考になる等の声が多かれ、簡便法として有効だと思われた。

今後、さらに各地で試行し、ソフトの改善を図り、農業生活者の実生活にも普及していきたい。